

「有機農業振興策の検討」に関する陳情

[願意]

市民の健康と食の安全保障および温暖化防止と持続可能な船橋のために地域有機農業の振興に急いで取り組んでいただきたい。

[理由]

日本ではまだまだですが世界では有機農業が主流になりつつあります。理由は人間身体の健康と生態系および地球の持続性です。もともと日本にあった伝統的な農法がベストであるということで、その回復と発展が焦眉の課題です。

日本の食品は規制が甘く農薬まみれということは有名です。ネオニコチノイドは神経系統をかく乱し虫などの命を奪う。害虫だけを殺すわけではなく、すべての生き物を殺し、人間にも多大な害を及ぼします。二人に一人はガンになり、子どもの発達障害も増えています。アレルギーを持たない人は少ないのではないのでしょうか？

また、直接の影響だけでなく多くの虫が現に絶滅しています。これは虫による花粉運搬で子孫を残している植物をも絶滅させてゆきます。有名な生物学者であるE. ウイルソン博士は「人間が絶滅しても1万年前の地球に戻るだけだが、虫が絶滅したら億年来の生態系は大混乱するでしょう。」と述べています。今、大変危険な方向へ向かっているといえます。

また有機農業に戻ることは大量の二酸化炭素を削減することにもなります。

農薬によって機能を失った土も生き返ります。虫も戻ってき、生態系と農業も持続可能になるでしょう。

一方、世界の温暖化の進行は加速しており、食料を輸入に頼っている日本人の食は非常に危ういです。有機農業による地産地消自給自足を目指し、命と健康と環境を守ることを第一の政策とすべしです。根本的安全保障でもあり、早急に改革していただきたい。